

## 平成30年第9回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成30年9月19日 午後1時30分
- 2 閉会 平成30年9月19日 午後2時48分
- 3 会議に出席した委員  
花井 隆教育長、金田真也教育長職務代理者、山本明子委員  
土井真紀江委員、太田孝雄委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 宮川裕之  
教育総務課長 伊藤英洋  
学校教育課長 杉田哲利  
生涯学習課長 森下 錬  
スポーツ課長 鈴木信宏  
博物館長 鈴木利昌  
文化財課長 増山禎之  
中央図書館長 豊田高広  
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則  
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第9回定例会議事日程

日 時 平成30年9月19日（水）  
午後1時30分  
場 所 南庁舎4階 政策会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議 題
  - (1) 平成31年度教職員定期人事異動方針について
  - (2) 田原市文化財保護審議会委員の任命について
- 4 報告事項
  - (1) 教育委員連絡報告事項
  - (2) 田原市議会第3回定例会一般質問等について
  - (3) トライアスロン伊良湖大会結果報告について
- 5 その他

教育長

開 会 午後 1 時30分

では、開会の時間となりましたので、始めたいと思います。

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。定足数に達していますので、平成30年田原市教育委員会第9回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、金田委員と山本委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願いたします。

それでは、議題に先立ち教育長報告を私からさせていただきます。

教育長メモに入る前に、この夏は大変田原の子どもたちの全国規模での活躍がありまして、8月18日、横浜であった日清食品カップの全国小学校陸上大会で、田原陸上教室の6年生4名による女子400メートルリレーで全国優勝ということ。

それから、8月21日、22日と岡山中で開かれた全国中学校総合体育大会の陸上競技で、東部中学校の吉居君が1,500メートルで優勝、3,000メートルで第2位という好成績をおさめられました。

高校生の弓道での個人優勝の河合さんを初め、小中高で全国優勝ができたなんて、こんな年も今までなかったのではないかと感じています。

では、メモのほうで、8月20日、校長会を終えまして、インディアナ州のプリンストン市へ訪問をしてきました。

一つ目で、プリンストン市からALTの派遣をプリンストン市の市長に強くお願いをいたしまして、その市長が11月にこちらに来るそうですので、その辺で何か進展があるのではないかと思います。

二つ目、プリンストン市の高校と福江高校との姉妹校提携について、現地のプリンストン・コミュニティ・ハイスクールというところをしっかりと見させていただきました。これについては、非常にいいお話ではないかと向こうからも声かけがありまして、現在は福江高校とEメール交換を始めたかなということで、福江高校の創立70周年に何とかいい発表ができるのではないかと期待をしております。スムーズにいつてもらえたらと期待しております。

8月25日、市の防災訓練。午後の「親と子の集い」は、杉田課長に行っていただきました。これは演劇の鑑賞会。

8月28日、田原市3高校ウォッチングということで、これは中学校の先生が田原市内の3高校を回りながら、高校理解を進めて、子ども

たちにぜひ地元の高校への進学をとというような意味合いがありまして、そういう点では、高校と中学校の交流ができたのではないかと思います。校長先生と特に3年生の担任の先生を中心に参加していただいて、第1回で非常にいい試みだったというように思います。

8月30日から田原市議会が始まりました。

9月3日が2学期の始業式で、4日が台風21号のため臨時の休校ということで、早めの決定で混乱も少なかったのではないかと思います。全県下でも早めの休校が、多かったかなということで、今後も早めの休校があるのではないかと思います。台風がまだ来る可能性もありますので、いろいろな面で今までの経験を生かしていきたいというように思います。

9月8日、「渡辺崋山の神髓」ということで、企画展がこの日から始まりました。重要な絵がたくさん展示されておりますので、ぜひこれを機会に博物館の25周年をみんなで祝えるといいかなと思います。

その後、私は成章祭へ行きました。結構雨が降っておりましたが、父兄の方も結構いっぱいにぎやかだったかなと思います。

夕方は、トライアスロンの前夜祭がありました。

翌日、皆さんにもお越しいただきました伊良湖大会が大変晴天で、暑い中、ボランティアの活躍等もありまして、いい大会になったのではないかと感じております。

9月10日から13日の4日間、予算決算委員会がありました。

9月11日、囲碁名人戦第2局が角上楼で行われました。国民栄誉賞をとった井山名人と張栩九段という非常に実力派対決ということで、大熱戦でした。

9月14日、全日本レディースソフトボール大会の開会式が田原総体で行われました。緑が浜がメイン会場で、滝頭や、豊橋の市営球場、蒲郡の浜町などで熱戦が繰り広げられました。全国大会を愛知県でやって、よくぞ田原市でやれたかなと。

同じ日に新しいALITも来日しました。ジョージタウン大学を卒業したばかりのキアナ・ホワイトさんということで、ちょうど次の日のサーフィン・ゲームスの開会式や、田原のお祭り、花火まで見て、一番いいときに来られたなというように思っています。

9月15日、ワールド・サーフィン・ゲームスの開会式が、田原祭りのある中、市役所で行われました。童浦小学校と東部小学校のマーチングバンドなどが先頭でやったりして、非常に華やかな開会式で、全部で42か国の選手が参加しました。これほど多くの外国人が田原に集結したことも今まででもないのではないかと思います。

現在もサーフィン・ゲームスで熱戦が繰り広げられて、今日の午後、決勝戦を前倒してやりそうですので。

本日が定例の教育委員会。この後、21日に本会議の最終日がありま

して、サーフィンも表彰式が行われる予定です。

9月22日、小学校の運動会があります。若干天候を心配しておりますが、それぞれ委員には、行かれる学校等、連絡が来るかなというように思いますので、よろしくをお願いします。

あとは、月見の会があったり、校長会があったり、体育大会が高校であったり、そういう形で9月は終わっていくかなという状況です。

以上、私からの報告とさせていただきます。

よろしいでしょうか。

では、次に移りたいと思います。

教育長

これより議題に入ります。

初めに、議案第27号「平成31年度教職員定期人事異動方針について」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

学校教育課長

学校教育課からお願いをいたします。

議案第27号平成31年度教職員定期人事異動方針について。

このことについて、別紙のとおり定めるものとする。

本日、9月19日提出、教育長名です。

1枚はねていただきますと、平成31年度田原市小中学校教職員定期人事異動方針というものがあります。

もう1枚はねていただきますと、県の人事異動方針というものもつけさせていただきました。これを参考に、6項目にわたって方針を示させていただいておりますが、県もそうですけれども、田原市も昨年度と同様の方針を示させていただきましたので、読んで提案ということにさせていただきます。

市民の信託に応え、本市公立小中学校の一層の充実・振興を図るため、愛知県教育委員会の教職員定期人事異動方針を踏まえ、次の基本方針に基づいて定期人事異動を実施する。

1、適材適所を旨として公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。

2、新しい教育課題に適切に対応するため、職務経験の多様化や効果的な人材育成をねらいとした配置を推進する。

3、全市的な視野に立ち、学校間における教職員構成の適正化を図る。

4、特別支援教育の振興と生徒指導・進路指導の一層の充実を図るため、担当教員の適切な配置に努める。

5、校長・教頭等管理職人事については、豊かな人間性と高い識見を有する人材を登用し、適材適所に配置する。

6、教職員の希望を勘案し、学校運営や教職員の資質・能力が発揮されることを考慮した校長の意見は、これを尊重して人事異動を実施する。

教育長

以上6項目を方針としたいと思います。  
以上、提案いたします。お願いします。  
事務局の説明が終わりました。ご質問等がございましたら、お願いいたします。  
昨年と同じで、何か問題等もないので、こういう形で出てきたということですかね。

太田委員

太田委員が見えるときとあまり変わっていないですかね。  
変わっていません。  
6番のような「教職員の希望を勘案し」というのは、県のほうにはないですけども、やはり個人の希望というのが優先されたというのは、これも大事なところかなと。

教育長

そのところで、「校長の意見は、これを尊重して人事異動を実施する」ということでありますが、全て尊重すると人事ができないこともありますので、その辺は校長先生によれば、全部聞いてもらいたいという強い思いもあるわけですから、おさめてもらっているようなこともないことはありませんので。

では、お諮りをしたいと思います。

議案第27号「平成31年度教職員定期人事異動方針について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

ご異議ないようですので、議案第27号につきましては、原案どおり可決いたしました。

では、続いて、議案第28号「田原市文化財保護審議会委員の任命について」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

文化財課長

文化財課からお願いいたします。  
議案第28号田原市文化財保護審議会委員の任命について。  
田原市文化財保護審議会委員を別紙のとおり任命するものとするという議案でございます。

1枚おめくりいただきたいと思います。

こちらに2名の候補者の氏名が書いてございます。現在、文化財保護審議会委員は9名任命してございます。そのうちの2名が任期満了となりますので、再任ということでお願いしたいと思います。

安井俊則さん、分野は、埋蔵文化財ということでございます。

林哲志さん、分野は、地理学、地図学を専門とされております。

任期は、平成30年10月1日から平成32年9月30日の2年になっております。

この2名については、専門の分野ばかりでなく、多方面で文化財保護のさまざまな指導をいただいている方々でございますので、田原市の文化財保護には非常に大切な方というように考えております。

以上2名を候補者として提案するものでございます。よろしくお願

教育長

いします。

事務局の説明が終わりました。ご質問等はございますか。

では、お諮りをしてよろしいでしょうか。

議案第28号「田原市文化財保護審議会委員の任命について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしですので、議案第28号につきましては、原案どおり可決をいたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いいたします。

では、金田委員からお願いします。

金田委員

9月8日、9日とトライアスロン前夜祭と当日、見学させていただきました。その中で一番印象に残ったのが、前夜祭のAタイプ男子の藤井選手のスピーチなのですけれども、台風や地震、あちこちで災害がある中、こうやって大会が開かれ、参加できることが幸せだという言葉。それと、選手それぞれ目標は違うけれども、最後は笑ってゴールしたいという言葉が一番印象に残りました。

また、一緒に上ったAタイプの女の方、昨年優勝していた方なのですけれども、子どもを抱えながら上っていて、ああいう小さい子を育てながら優勝したということは、時間の使い方がうまいのか、家庭の理解があったのか、もう少し自分もやらなければいけないなど、そういう気持ちにならせていただきました。

トライアスロンの当日は、いろいろな危険箇所がある中、適材適所にすぐれた人間を置いて、安全に十分配慮して行われているなという気がいたしました。

あとは、サーフィンの世界大会やソフトボールの全国大会もある中、こうやってトライアスロンの大会を開いてすごいなと思いました。

最後、強いて言うなら、森を抜けて、歩道橋をおりてきて、ゴールとなる、その辺をもう少し応援の人というか、やはり選手は最後が一番記憶に残るので、その辺が華やかだったらよかったのかなという気がしました。今まで先輩方が成長させてきたトライアスロンを、これからの人たちで成熟させていって、よりよい大会にしてほしいなど切に思いました。

次に、9月15日、伊良湖岬中学校の運動会に行かせていただきました。全校101名、3年生が2クラス、2年生が1クラス、1年生が1クラスという小規模校で、クラス対抗ではなくて、1年生から3年生までまぜた縦割り班の4チーム対抗の運動会ということで、初めて見るような運動会だったのですけれども、1年生から3年生まで、上の子が下の子の面倒を見て、下の子は上の子についていくという、とても

いい感じだなと思って見させていただきました。100メートル、200メートル、二人三脚、ムカデ競争、リレーとか、通学団リレーとか、縦割りリレーだけではなくて、大玉送りでも、玉を送ったらその前に行って、また玉を送って、とにかく朝から晩まで走るような運動会。走って、走っての、本当に運動会なんだなと思いました。

最後ということで、昼食も、その縦割り班で分かれてとってましたし、その縦割りという絆をすごく強く感じた一方で、わかたか太鼓とか、これはまた違うのですけれども、合唱コンクールなどは、学年別で班を分けて、縦割りと学年と、うまいことバランスをとりながらやっているという印象を受けました。地元の人たちもすごく明るくて、和気あいあいと運動会に参加していました。

あと、校歌を歌っているところでも、生徒はもちろんだけれども、保護者の人も歌っている光景も見られましたし、やはり、いずれにしても、あと半年ということで、とても運動会に対して、学校に対しての気持ちが高ぶっているのかなという印象を受けました。間違いなく子どもたちや保護者の人たちにとっては、忘れられない、記憶に残る運動会だったのではないかというように思いました。田原市としても、こういった学校を記憶として、何かうまいこと残してほしいなというように思った運動会でした。

最後なのですけれども、博物館へ行ってきました。崋山先生の遺書や刀、ああいうものなどやはり、目をみはるものがあったということと、その数日前に館長のお話を聞く機会がありまして、崋山から高木悟庵あての手紙ということで、少し話を聞いて、普段だったら素通りするその手紙をしっかりと見て、勉強になりました。

以上です。

ありがとうございました。

では、山本委員、お願いします。

私は9月8日のトライアスロン前夜祭は、途中から参加させていただいたので、初めのセレモニーは出られませんでした。ひどい雨の中、すごく大勢の方が集まっていました。

トライアスロン当日ですけれども、今年は自転車のほうも見させてもらって、自転車を乗り継ぐところと、自転車から降りて走るところ。やはりきちんと、その要所要所で係の人が1人ずつ注意しながら、自転車は必ず降りるようにと、注意してやっていました。本当に係の方たちが大活躍されて、安全のために要所要所で活躍されていたのを見まして、本当にいい大会だったと思いました。金田委員が言われたように、来賓席が最後のところなので、もっと来賓席のほうに一般の方も多少集まってこられるようなスペースがあるといいのではないかと。二、三年前に見たような気がするのですけれども、今年は少なかったなど。

教育長

山本委員



それから、今日の午前中に東部中学校の体育大会へ行ってきまして、いい天気で、風もあって、とてもいい大会でした。

行ったときに気がついたのが、学生の席の上に全部テントを張っておいてもらったのだそうです。業者に頼んでやってもらったということで、中学生は帽子をかぶっていないので、頭を守るものがないのだけれども、一応、休んでいるときはテント。少しお金はかかるのですけれども、地域の方や同窓会の方に寄附をお願いして、そのテントをやってもらったと。昨日、おとといは暑かったので、熱中症のことは心配だなと思っていましたが、今日はテントがかかっている、熱中症の心配は、なかったです。

ただ、今日は、同じところで滑って転んだ子がいまして、走り方が、陸上部の子はスパイクで走るのだけれども、体育大会は普通の運動靴で走るものですから、滑ってしまって、転ぶ子が2人くらいいたのですね。あの辺をもう少し事前に何か注意をしておいたほうがいいのかもしれないけれども、転んだ子は何人かいましたけれども、大きなけがはなく、とにかく無事で体育大会がいけるといいなということで、校長先生をお願いしてきました。

私のほうは以上です。

ありがとうございました。

では、土井委員、お願いいたします。

私は9月16日に福江中学校の体育大会に参加させていただいて、本当は14日の予定だったのですけれども、すごい雨でグラウンドが使えないということで、2日間延期をして日曜日の開催でした。

校長先生とお話ししたときに、日曜日に中学校が体育大会をやるといのはなかったもので、サラリーマンのお父さんでなかなか来られない方とかが、今回参加することができて、毎年、福江中学校の体育大会は子どもがいたので行っていたのですが、今年は保護者の方がすごく多いというのが第一印象であって、中学校では保護者の方が来ることが少なくなってくる中、今回こういった形がとれたというのは、私たちはよかったなと思うし、実際ほかの保護者の方の意見でも、やはりお父さんが見られたのは楽しかったというのも聞いていたので、本当はここまで延期するのは学校としても嫌だったとは思いますが、別の意味でよかったのではないかと思います。

福江中学校は、毎年クラス対抗で応援合戦というのがあって、審査員は先生で、優勝とか、賞をいただけるという形のものがあるんですが、やはり2学期に入ってから、すぐにその看板づくりだ、練習だということで、すごく大変な中でも子どもたちは、すごく楽しい雰囲気で行っていたので、見ている保護者たちも、すごく和気あいあいと見ることができてよかったと思います。

あと、先ほど金田委員が言われたように、伊良湖岬中学校と合併す

教育長

土井委員

ることによって、福江中学校だけの体育大会が全部というよりも、やはり伊良湖岬中学校でやっていた、いいものも取り入れつつ、来年から体育大会を少し変えるという形でもいいかなというのは、私は感じました。

以上です。

教育長

そういったことも伊良湖岬中学校の統合準備委員会の部会の中で検討をされていくかなということでもありますので。恐らく、それぞれ思っているところでもあるのかなというように思います。また参考にしていただけたらと思います。

では、太田委員、お願いします。

太田委員

私は9月8日に、トライアスロンの前夜祭、開会式に出させていただきました。初めてでいろいろ印象に残ったことが多いのですが、特に、本当に多くのスタッフの方がこの大会にかかわり、また熱心に、一生懸命にやってみえるなどということ強く感じました。特に旧渥美町のかかり年配の方々も率先して動いてみえるということで、地域の思いというのが、トライアスロンの32回の歴史の中に生きているなど強く感じました。また今後も、この大会を通して地域の活性化というか、そういうものにつなげていきたいというようなことを願っているのではないかと思います。当日は、ほかの都合で参加できませんでしたので、また次の機会には、ぜひ選手たちのこういうことも見ていきたいというように思いました。

あとは、「渡辺崋山の真髓」。博物館に行かせていただきました。これほどじっくり渡辺崋山の多くの作品を時間をかけて見るようなことはなかったものですから、今まで有名な作品は見ていたのですが、展示の中に博物館長のコメントが載っていたのがよかったなと思いました。わりとかたくなり過ぎずに、一般の我々のように、それほど専門的な知識のない人でも見ていけるような、そういう工夫もされているのではないかと思います。

それから、地元で昨日、ワールド・サーフィン・ゲームスを見させていただいて、これも本当にスタッフの方がいろいろなところに動いてみえて、大会を何とか成功させようというような、そういうことを感じました。地元でこれほど、本当に外国の方々がたくさん来て、全く日本でないような、そんなところでしたけれども、校区の方が見ていただけるといいかなと思いました。私が行ったのは朝早かったものですから、観客は少なかったですけれども、皆さん海岸の本当に近いところへ行って、一生懸命旗を振りながら応援していましたので、ああいう選手や選手団の意気込みというものが感じられました。

以上です。

教育長

サーフィンの大会ですけれども、本来なら8時から16時の間でとい

教育部長

うことでしたけれども、スタートも早くて、昨日は終わりも18時半。それで2日分くらいの内容を、今、こなしています。

連休の日曜、月曜あたりは、台風の影響も含めて大変ビッグウェーブで、今、だんだんおとなしくなりつつあるということで、決勝戦も前倒しで、今動いています。短い期間を駆けめぐるって、ここで終わってしまうと寂しいなぐらいの感じはありますけれども、何とか無事に終了してもらえるのが一番かなというように思います。

それぞれの委員からの報告をいただきました。

では、続いて、報告事項の2番ですね。田原市議会第3回定例会一般質問等についてお願いいたします。

それでは、皆さんのお手元に、田原市議会第3回定例会提出議案等ということで、お配りさせていただきました。

今回、第3回定例会9月議会ということで、会期は8月30日から9月21日までとなります。

提出された議案は、全部で15議案。報告4件という形です。人事案件が1件、条例2件。今回の定例会は、決算の認定が中心になる議会になっております。

教育委員会の関係で言いますと、議案第54号。教育委員の任命について議会の同意を求めるものということで、議会の初日、8月30日に同意を得ることができました。ということで、新しい委員として、天野千栄子さんというようなことが決まっております。

一つ置きまして、議案第56号。小学校、中学校、公の施設の設置については、条例で定めなければいけないという規定があります。学校の設置条例があるのですけれども、その中から伊良湖岬中学校と福江中学校が統合するというので、伊良湖岬中学校を削除する。こういった改正を今回行ったものです。

次に、補正予算です。今回、トヨタ自動車の関係で非常に大きな補正予算がありました。

中を見ますと、教育関係の予算が非常に多く、エアコンの設置につきましては、来年の夏、6月、7月くらいを目処にということですが、こればかりは業者がどうなるのか、入札をやってみなければわかりませんが、私たち担当としては、夏前の設置を目標に、今、設計に取りかかっていること、そういった予算を計上しております。

トイレの洋式化、それと中学校の体育館などの非構造部材の撤去、こういったものが上がっております。

決算につきましては、決算審査を終えたものについて、議会が審査をして、認定をするといった流れになっております。

2枚はねてもらいますと、一般質問一覧表がつけてあります。

今回、9人の方から一般質問をもらいまして、教育の関係が5人ということで、非常に教育に注目というか、皆さん思いがあるのかなと

というような一般質問の内容でした。

1枚はねてもらいますと、各議員の質問と、こういった形で答弁したかというのを簡単にまとめさせてもらいました。

最初に、辻議員から大きく三つの質問をいただきました。

一番上の、災害時に有効な乳幼児用ミルクです。

これは、東日本大震災、熊本地震のときに、乳児用の液体ミルクが活用されました。この乳児用液体ミルクの利点としては、水やお湯で溶かす必要がない。そのまま使えますよというところです。これが今、日本では製造販売禁止になっているのですけれども、2020年のオリンピックを目処に、解禁という形になる。これについて、活用していくのかという質問をいただきました。

現時点で言いますと、非常に価格が高い。今まで活用、日本では製造販売されていないものですから、取り扱いについて一定の評価がないということで、まだ今のところは災害用の備蓄資材としては適していないという考えを持っていますけれども、これが広まっていって、値段も安くなる、保存期間、その辺がクリアされると、多分有効なものにはなってくるというようには考えております。

二つ目。子どもの命を守る防犯・防災対策ということで、まず1番として、新潟の女児殺害事件を受けて「登下校防犯プラン」が策定された。本市の防犯対策についての取組みを伺うというところです。

右側書いてありますとおり、本市では、いろいろな防犯対策をやっております。これに合わせまして、現在危険箇所や見守りが届かない場所の点検を行っております、この中に危ないところがあれば、関係機関と連携して改善していくように考えている、こういった答弁をしております。

2番として、高槻市のブロック塀倒壊による女児死亡、これを受けた学校の安全対策というところです。

これにつきましては、まずはブロック塀、非常に危なかったのが中山小学校のプールのところにあるブロック塀。それと、高松小学校の万代塀ですけれども、これについては撤去を終わっております。

学校内の設備、施設を全部点検した結果、例えばプロパン庫がブロック積みであったり、農業資材倉庫がブロック積みで上にトタンの屋根がかぶせてある、こういったものが非常にあったというところで、23施設について危険と判断し、順次撤去をしたり、フェンスへの取替えを行ってきている、こういったことを答弁いたしました。

3番として、これは、東京目黒区の5歳の女児虐待死です。

これは、担当が健康福祉部になるのですけれども、今、こういった子どもたちに対する取組みとしては、初産妊婦から乳児全戸訪問、こういったものを始めて、まず家に行こうじゃないか、危険のあるところがあつたら、芽として出てくる前にまず入っておこうと、こういっ

た動きで進んでおります。大きくなれば、検診のとき、受診に来ない子はなぜかというところで、そこに訪問をかける。あと、病院や学校、保育園、その中で不審なあざがある。そういったものがあると、要保護児童協議会に上がってきまして、この子を見守りをどうしよう、関係機関で、学校で見られる時間がどれくらいある、残りの時間はどうしよう、隣近所にも声をかけられる人がいないかと、こういった対策を協議して子どもたちを守っていこうといったことを、今、市としては取り組んでおります。

大きな三つ目、SDGsの推進ということで、非常に聞きなれない言葉ですけども、今、国連サミットで17項目の目標を掲げたということで、これについては、大体今やっている国、市がやっていること、そういったものもかなりかかわりがあるということで、こういったSDGsの取り組みも意識しながら事業を進めていくという答弁です。

裏面へいっていただきまして、長神議員から、豪雨災害に備えた取り組みという質問がございました。次の廃校施設の有効活用について、教育部のほうでお答えをしました。

現在、廃校というか、使われていない学校として、まず旧堀切小学校があります。これについては、津波避難マウンドが整備されました。今度の10月1日に完成式が予定されております。

旧野田中学校、こちらは「ふるさと教育の拠点」ということで、ふるさと教育センターに活用する予定をしております。

旧伊良湖小学校、こちらは地域との協議を進めておりまして、今年度中に方向性を決めていく予定をしております。

これからですけども、今後、まずは赤羽根中学校と泉中学校の統合が予定されておりますので、この統合後の泉中学校をどうしていくか、そして旧伊良湖中学校の跡地に新しく伊良湖小学校を建設します。とすると、今、伊良湖小学校として使っている旧和地小学校の活用についてが今後の検討課題になってきます。

こういったところの活用がということです。

これに関連しまして、学校再編については、当分の間、これ以降は行わない。人口推移や地域の状況など、さまざまな観点から学校再編については考えていきますといった答弁をつけ加えております。

その下が、仲谷議員からスクールバスに対する質問がありました。

ここの一つ目の点にありますように、今、童浦小学校と伊良湖小学校でスクールバスを導入しているのですが、この運行経費が6,100万円かかっていると。これから伊良湖中学校と福江中学校の統合で、スクールバスを導入します。その後、泉中学校と赤羽根中学校の統合でスクールバスを統合した場合、どれくらいスクールバスで経費が必要になってくるか、このような観点からの質問でした。

議員からは、例えばホテルや旅館、今、そういったマイクロバスが

ある、それを活用できないかという提案がありましたけれども、そういったものについては、例えば使えるという確実性がない。安全な運行ができないという部分ですとか、事故が起きたときの対応、どこの責任になるか、そういうところを考えると、今のところそういった活用は考えていませんというような答えをしております。

今後につきましては、まずは、やはり遠距離通学を考えるとスクールバスは必要です。ただ、経費負担の抑制にも取り組んでいかなければならないというところで、今後直営による運行も含めて考えていきますといった答弁をいたしました。

委託の経費と直営による経費、これが今、どれくらい差があるのか試算を始めております。直営とした場合、間の時間のときに運転手の活用が、例えば学校整備であるとか、そういったところで教職員の負担軽減が図れないか、そういったものも含めた効果、そういった検討をしていきたいといった答弁をいたしました。

もう一つの質問が、ぐるりんバスの関係です。

平成27年10月にルート変更しましたが、ルート変更の結果なのかどうかはわかりませんが、利用者の減少、運行経費の増加というところで、意図したものは少し違う結果になってしまったというところ。この結果を受けて、利便性の向上と費用対効果に配慮した見直しを行っているところです。今後の高齢化社会、その辺を見通しますと、どうしてもこのぐるりんバス、こういった足の確保が必要だというところで、見直しを図っていくという答弁でございました。

彦坂議員からですけれども、まず家庭系ごみの有料化、現状はどうかの質問でした。

次が教育の関係になります。教職員の多忙化解消ということで、まず1番として、学校閉庁日、校務支援システム、部活動指導員、それぞれの効果に対する質問をいただきましたので、まずは学校閉庁日については、まとまった休みが取得できて、教職員の休養・リフレッシュに効果が出ていると感じている。

校務支援システムについては、事務の省力化、連絡や情報交換などに効果が出ているけれども、どの先生も使えるようにしていくため、まだこれからも啓発や利用の周知が必要だという答えです。

部活動指導員につきましては、福江中学校で導入をして、担当職員の負担軽減につながっており、さらなる増員を考えていきたいのですが、人材確保が非常に問題だという答えをしております。

この一連の質問の中で、一つ議員からの提案として、家へ仕事を持ち帰る。特に女性の方だと家事の合間を縫ってやるのは生活スタイル的にいいのではないかという提案がありましたけれども、私どもの答弁としては、やはり個人情報が多すぎます。これを持ち出すことは配慮が非常に必要だということで、まずそこで1点は困難。それと、

家で仕事をしていても、業務をやっていることには変わりがないということで、全体的な仕事量、分担の見直し、そういったものを含めて考えていく必要があるといった答弁をしております。

2番として、道徳及び英語の教科化に伴う働き方への影響ということで、まず道徳については、以前から道徳の時間があるので、大きな影響はないものと考えています。

小学5、6年生の英語につきましては、ALT、英語指導助手、それと英語教育モデル授業、こういったものによって環境を整えてきたということで、これからも状況を把握しながら負担軽減を図っていきますといった答弁をしております。

10ページへいきますと、働き方改革、いろいろ取り組んできているのですけれども、やはり一番は、教職員自身の意識改革ではないかといった問いかけです。

私どもは、まずは愛知県の多忙化解消プランに沿った取組みをこれからも進めていきますというところで、今、先生たちの在校時間調査を行っています。自分の働き方を見つめ直すことで、本当にこの働き方でいいのだろうかという問いかけを自分の勤務時間を見ながらやってほしい。それと、学校全体で、ある先生に負担が重なっていないかどうか、そういったところの見極めにもつながっていくのではないかと、この在校時間調査を中心とした取組みを進めていきたいという答弁です。

最後、こういったものを含めまして、田原市では今、小学校の96%と中学校の69%が35人以下の学級になっている、市費で非常勤講師を配置するなど、負担軽減のための支援を行っている。しかし、これ以上の教員の負担軽減のためには、国、県への教員の配置増を引き続き要望していくということ。それと、市としても教職員の多忙化解消につながる人的な配置ができるように努力していくといったことをお答えしております。

次に、古川議員は、農業基盤整備の状況と今後ということで、和地太田地区の農地整備事業ですとか、豊川用水の二期事業、こちらの質問でございました。

11ページ。岡本議員は、外国人技能実習生の活用ということで、これは農業実習生を中心とした活用の質問でした。

その下、小川議員からです。観光まちづくりの推進と「育てる漁業」の取り組みというところで、どちらも産業振興の関係で、産業振興部長が答えております。

河邊議員からは、「心豊かな平和田原市を」と「人口減少とまちづくり」、この大きな二つの質問をいただきました。

そのうち、心豊かな平和田原市をという質問では、1番で、非核・平和宣言について市の考えを伺うということで、今まで私どもとして

は、国の政策、国は核兵器について、拡散防止とか、これ以上の拡大をしないという観点からやっていたのですけれども、やはり時代を考えると、非核・平和宣言をやっていくべきではないかということで、答弁としては、市民の意識や関心の高まりなど総合的に考える中で改めて検討していきますというような流れで、市の考えとしては、何十周年記念とか、戦後何年、そういったタイミングを見計らって非核・平和宣言を考えていくという考えを示しました。

そして、2番が、新しく戦争遺跡資料館をつくったらどうだ、戦争遺跡の保存に力を入れるべきではないかといった質問でした。

まずは、新しい施設については、現在田原市は公共施設の保有量がほかの市町村に比べて非常にたくさんある。新しい施設をやると、またそこに人の配置が必要になってくるということで、そういった考えではなくて、今の施設をどう活用していくか、それを考えていきますという答弁。

それと、今までの戦争遺跡に対する活動などをお答えして、やはり、まだなかなか戦争遺跡自体の評価が定まっていないというのは、進んでいかない一つにあると思います。まずは、戦争遺跡については調査を行って、どういった位置づけだろうという、その辺の考えをまとめてから、どのように対応していくか検討していくといったお答えをいたしました。

最後、12ページへいきますと、戦没者追悼式について、今まで遺族会の方、ご遺族の方の参列という追悼式でしたけれども、本年度から一般の方にも出てくださいということで、ご案内をしております。今後も、こういった考え方を進めていくということで、遺族会とも相談しながら検討していくといった答弁をしております。

同じく河邊議員から、人口減少とまちづくりにつきまして、ふるさと学習を充実させるためには、高齢者の関りが必要だという。これにつきましては、ふるさと教育の指針にも示してありますけれども、ふるさとについて豊かな経験と知識を持つ高齢者、こういった方たちが、今度は教えたり、学びを支援する立場に回る。これは、ふるさと教育の目指すものの一つですといったお答えをいたしました。

それと、吉胡貝塚と汐川干潟、これを一つのセットというか、そういった形で前面に押し出して、シティプロモーションとして発信したらどうかというところです。これについて、当然、吉胡貝塚、シェルマよしごへ行ってみればわかりますけれども、本当に吉胡貝塚と汐川干潟は一体となっているような形の建て方をしております。そういったことで、この汐川干潟、吉胡貝塚だけではなく、市全体の豊かな自然ですとか、貴重な文化財、こういったものを市内外に発信してシティプロモーションを展開していきますといった答弁をいたしました。

一般質問の最後は、杉浦議員から、市長公約の達成状況と今後の進



退といった質問がありまして、その中で市長が、今までやってきた任期中のものについて、各公約がどういう状況かということ報告し、最後に進退ということで、次回も市長選には出たいといった答弁をして終わりました。

教育長

一般質問提出議案の説明については、以上です。

ありがとうございました。

一般質問等についてのご質問はございますでしょうか。

金田委員

1点、お願いします。

教育長

お願いします。

金田委員

10ページの働き方改革ということで、国、県への教員配置増の要望ということで、どういう要望をしているのか。

学校教育課長

私のほうで。いいですか。

金田委員

はい。

学校教育課長

国と県のほうで、教員の定数というのは、児童生徒数ではなくて、学級の数で決まってくるのですね。学級が一つ増えれば、2人増える場合もあるし、1人の場合もあるし、その数が決まっていますのですけども、それを柔軟に加配で増やしていただきたいというのが1点と、あとは定数が決まっていますのですけども、正規教員ではなくて、講師を当ててくださいということで、丸々正規では配当がされないのですね。その辺について、きちんと正規を当ててくださいというような要望を県や国へしております。

教育長

いいですか。

金田委員

はい。

教育長

要望は例年もいろいろやっているところで、なかなか財政状況もありよろしくない部分もあって、引き続きということで、私たちとしては35人、30人学級というようなところもやっているところなのです。

大体多忙化についての一番のところは、教員を増やす。それも正規教員を増やすということは、わかってはいるのです。なかなか国も、以前はここから半分、教職員の給料等が出てきたのですけれども、今、3分の1になって、いまだに文科省と財務省とでやり合っているわけです。特にこの辺の文科省の官僚とか、いろいろな部分も聞くと、なかなか財務省からいい答えをもらえていないので、その点では、教育にもう少し力を入れてほしいという感じはします。

教育部長

あと、やはり少子化があると正規雇用が難しい。ある程度、少子化が進んだときに、何年間は教員採用がなくなりますというのは、年齢構成上よくないということで、ずっと教員採用を続けていくというように考えたときに、いつかは正規雇用が不足してしまって、そこを非常勤で賄うというところが多分スタートとして、あったと思います。だけれども、財政的なものがあると、そこがスタートになってくると、またここである程度、子どもの数が、学級の数といった場合でも、正

金田委員  
教育長

スポーツ課長

規職員を増やさなくても非常勤講師でいけるじゃないか、予算範囲内でいけるじゃないかということになると、正規雇用がなかなか進んでいかない。これは多分、学校の先生ばかりではなくて、保育士などもそうですけれども、これから先、子どもたちを考えたときに、どうやって人員、職員の調整ができるだろうか、弾力的に人数の増減を吸収するためには、ある程度、非常勤でやっていかなければいけないのかなというところがあります。今の学校の先生たちの働き方を見ていると、もう少し正規分を増やしても、十分吸収できる範囲内だと思います。教育長が言われたように、財政的な面も非常に大きなものになっている。そういった印象を受けます。

わかりました。

先も見通す中で、今こういう過渡期というのか、少子化というのが対応が難しいですね。

そのほか、いかがでしょうか。

では、続いて、(3) トライアスロン伊良湖大会結果報告について、事務局から報告をお願いします。

それでは、報告事項の(3) トライアスロン伊良湖大会結果報告についてでございますけれども、こちらの報告の前に、大会当日並びに前日につきましては、お忙しい中、教育委員の皆様におかれましては、足を運んでいただき、まことにありがとうございました。

当日の結果でございますけれども、大会会場は伊良湖岬周辺で、予定どおり行われました。距離のほうも縮めることなく、Aタイプ、Bタイプ、それぞれ、スイム、バイク、ラン、トータルで、ご覧の距離で競うことができました。

台風21号の影響や秋雨前線の動きも心配されましたが、大会前日の前夜祭等も順調に行われ、当日も、晴天のもとで行われました。

気温につきましては、例年より若干高めで26.5度。水温も1度ほど昨年に比べて高く、26度で行われました。湿度につきましても、94%で、昨年より若干高めでございました。

ただ、朝、若干風が強くて、スイム競技ができるかなと心配しておりましたけれども、連盟とも相談しながら、大会はできるということで、無事終えることができました。

参加選手でございますけれども、それぞれAタイプ、Bタイプともに500人のエントリーがございましたけれども、当日のエントリーといたしましては、Aタイプ455名、Bタイプ471名でございました。

そのうち、完走者でございますけれども、Aタイプ416人で、エントリー者のうち91%の方が無事完走。Bタイプにつきましては、452人の方で、96%の完走ということで、割合としても非常に高くなっております。

観客でございますけれども、前夜祭につきましては大体3,000人、当

教育長

日におきましては6,000人の観客があったのかなと思っております。

また、この大会は、福江高校の生徒を初め、ボランティアの方の多くのご協力のもと行え、そういったボランティアの方の協力ができない大会でございましたけれども、皆さん頑張ってください、大会は盛り上がっていったかなと思います。

裏面を見ていただきますと、Aタイプ、Bタイプ、それぞれ男女別で上位3名の方を表彰しました。このうち、Aタイプ女子の1位の方、宇治公子さんは、昨年引き続きで、連覇ということでございます。

Bタイプの優勝者の疋田文枝さんは、田原市内在住の方で、こちらも連覇ということで、昨年の記録を参考のために見てみましたら、4分30秒ほど時間も短縮しておりました。

あと、年齢別の男子、女子で、それぞれAタイプ、Bタイプ、ご覧の方が表彰されております。

大会結果につきましては、以上でございます。

報告が終わりましたが、ご質問等がありましたらお願いいたします。

女性は連覇しているということで、男子はまた、それぞれ新しいチャンピオンが出た大会だったかなというように思います。

私も当日あちこち、自転車もランも見させてもらって、特に自転車は雨上がりで濡れているところがあって、関係者で滑らないようにいろいろ注意をして、事故のないように配慮が十分払われていたかなと。

ランのコースは恋路ヶ浜を走っていたのですが、当日は結構暑かったので、氷水のような冷たい水を頭からかぶせてくれと言っている人もいれば、ぶるぶる震えていたというような方も見えたりして、みんなそれぞれの目標に向かって頑張っていますし、それを支えるボランティアも、高校生も含めて皆さんご活躍いただきました。

よろしいでしょうか。

教育長

では、続いて、その他のほうで事務局から何かありましたらお願いいたします。

事務局、いいですか。

学校教育課長

学校教育のほうから、先ほどもありましたけれども、新しいALTのキアナ・ホワイトさんが来てくれましたので、簡単に紹介ということでお願いいたします。

先ほどありましたキアナ・ホワイトさんです。女性です。6月に大学を出たばかりで、初めての仕事へつくのに、日本で、田原へ来てくれたという方です。

ケンタッキー州出身で、専攻は陶芸をやっているそうです。

任期としては、1年ごとに更新ということで、2年、3年といってくるといいかなと思います。

ALTとして授業に入っていくのは、田原中学校、福江中学校、伊

良湖岬中学校を予定しております。今日、各学校へあいさつ回りに行  
って、授業に入っていけるように準備をしています。

住まいはALT住宅です。そこで先のALTのアリエルと一緒に住  
んで、生活しています。

先週の14日に来て、田原のお祭りや、花火、そういう行事を一緒  
にめぐって、楽しい印象でスタートできているかなと思いますが、初め  
ての外国で、日本語もままなりません。ですから、顔を見かけたら声  
をかけていただくとありがたいと思います。キアナ・ホワイトという  
女性が来ておりますので、よろしく願いをいたします。

教育長 私からは、新しいALTのご紹介です。よろしく願いいたします。  
若干の補足で、私も昨日、サーフィンを見ながらお昼を会場と  
いうことで、本人はベジタリアンなので、おだんごとか五平餅とか、比  
較的米がいいかもしれません。休み中には、既に小倉トーストなどを  
食べて、それをきつと、一緒にいたアリエルが紹介したと思うので  
すけれども、アリエルは甘いもの大好きですので。そのような関係も含  
めて、比較的アリエルが先輩として面倒を見ながら入っていけるの  
ではないかということ。今日も福江中学校へ、昼も食べながらという  
ことです。どれだけ食べられているのかなということも心配ですが、  
明日からは、バスで、アリエルが泉中学校、彼女が福江中学校とい  
うような形で、たまたま方向が同じなので、バスに乗る練習も兼ねて進  
んでいきたいというように思います。また皆さん、何かありましたら  
声かけ等をしていただけたらというように思います。

教育総務課長 そのほか、いかがですか。  
最後にあります、教育委員の出席の日程案です。委員会が終わりましたら、また改めて見ていただきたいと思いますが、差し当たりまして、次회가10月1日月曜日に第10回の定例会をこの会議室で予定しておりますので、よろしく願いします。今週末には、また各委員、運動会等もありますので、引き続きよろしく願いいたします。

教育長 こちらとしては、以上です。  
そのほか、いかがですか。  
では、今日は第9回の定例会ですが、土井委員はこれでご退任いた  
だきますので、一言、ご挨拶いただければと思います。

土井委員 今月で任期を終えることになりました。4年前は本当に教育委員と  
いう、その仕事の内容も全くわからず、どういったことをしていいの  
かというのか、わからずじまいでやってきた4年間だと思うのです  
けれども、保護者としての見方とはまた別に、自分が教育委員として  
学校現場に携わることができて、やはり田原市の教育委員会という  
ところは、学校のためにとか、子どものために一生懸命やってくださ  
っているということを改めて感じさせてもらうことができました。途中、  
家のほうがばたばたして、なかなか行事に参加できなかつたり、会議

教育長

に出られなかったこともあったのですけれども、ほかの委員の方がフォローしてくださったおかげで、無事4年間、終えることができました。いろいろありがとうございました。

お疲れさまでした。

では、本日の会議は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第9回定例会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後2時48分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員